# 「お互いを大切にするコミュニケーション」　（すみだ女性センター）

道徳　学級活動　コミュニケーション

- 実施日　　令和３年３月１０日（水）
- 実施校　　墨田区立竪川中学校　３年２クラス　７９名
- 講　師　　NPO 法人レジリエンス派遣講師１名　　すみだ女性センター２名
- 内　容　　「デート DV」とは？

○ 身近な問題、他人ごととは思わないこと
○ 暴力の原因、種類、正しい理解
○ 暴力を振るわれた時の解決策
○ 愛情とはどんなものか？
○ ロールプレーイングによる「尊重」のある会話（デート編）（先生実施）
○ 被害にあった時の解決策　　○ 相談窓口の紹介

2018 年実施の一場面

【生徒の感想文から】
- ３人に一人が被害にあっていると知り、あまりの多さに衝撃を受けた。中学生の頃に学ぶことは、これからの人生において良い経験になると思う。
- DV は体などに暴力をふるうだけなく過度な束縛などもデート DV になることが分かった。今後、自分が DV をする方にならないように、相手に依存しすぎないようにしようと思う。
- ひどい言葉、暴力をふるうのは恋人ではないと思った。相手の気持ちを思いやることが出来るのが、本当の恋人だと思う。
- 先生たちの劇を見てもしそうなったらと考えると怖かった。DV という言葉は知っていたが、デートＤＶは知らなかった。
- 恋人どうしでも夫婦、家族どうしでも暴力はいけない事だと改めて確認できた。相談された時には、最初から否定するのでなく、共感してあげることが人とかかわる上で大切と感じた。
- DV がダメなこと以前に、まず人に暴力をふるってはいけないことが常識だと思うので、注意したいと思う。また、友だちと話していると、ツッコミを入れたりするときに手が出てしまうので、どこからどこまでが暴力なのかを見極めたいと思った。
- 運よく自分の周りには信頼できる人がたくさんいてその中で生活できているが、もしも何かあったら相談したい。将来自分も恋愛することがあると思うので、その際にはこの講座を思い出して気をつけたい
- ＤＶは暴力だけだと思っていたが言葉もＤＶとなると知り、自分の発する言葉で人を傷つける可能性があることを知り、発言にはより注意をしようと思った。
- お互いに尊重し合うことが一番大切だと改めて実感した。自分一人の世界で生きるのではなく、仲間の意見を伝え合うことで答えが見つかるのかなと思った。

【地域コーディネーターから】

　デート DV がテーマだが男女間に限らず、すべてのことにおいて相手を尊重することについて話していた。もし友人から相談されたらどういう対応をしたらいいかなど、具体的に説明していた。
「ありがとう、ごめんなさい、助けて、を言える人は、むしろ強い人なのだ」という言葉が印象に残った。先生によるロールプレイは楽しく、分かりやすくて良かった。
　現在中学生で行っているのは竪川中学校のみだが、もっと他の学校へも広がって欲しい。